



『地域チャレンジデーありがとうございました』

校長 市丸 佐緒里

平戸高校は今年度から『地域チャレンジデー』を始めました。地域（まちづくり運営協議会）と高校1・2年生がコラボして、ゼロから1を創るまちづくりの初めの一歩を踏み出しました。

この活動の大きな目的はホンモノのオトナになること！！育てるうこと！！。では、本物の大人は？これはまさしく“正解のない問い”ですが、民法改正が施行された2022年4月1日以降、現代の高校生は18歳で「成年」とみなされ、高校卒業時に備えるべき様々な力が求められています。学校という枠を超えて、そのような力を地域とともに知恵を合わせて育成しはじめられたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度の活動を振り返り、1月30日（金）平戸市ふれあいセンターにて開催する総合学科発表会で紹介したいと考えています。自由参観となっておりますので、ぜひご覧いただき感想等をお寄せください。

・・・ホンモノのオトナとは？校長室のひとりごと・・・

- ① 周りの幸せも考える余裕がある（さりげなく支える、ケアする気持ちがある）
- ② 学び続ける姿勢をもっている（思考の若さ・しなやかさ、可能性を保ち続けている）
- ③ 他者も自分も完璧でないと知っている（自分の弱さを隠さない、他者の弱さはカバーする）
- ④ 他者に敬意を持てる（年齢・立場・性別等に左右されず、自然に尊重できる）
- ⑤ 選択の結果を自分で引き受ける（やったこともやらなかったことも人や環境のせいにしない）
- ⑥ 感情をコントロールしようと努力する（怒りやネガティブな感情に飲み込まれない）

地域チャレンジデー

第1回を7月16日（水）、第2回を9月22日（月）に行い、1・2学年の生徒が各地区のまちづくり運営協議会に出向き、地域の活性化に向けた活動を行いました。（活動詳細は下表のとおり）

根獅子・飯良	8名	押し寿司作りと高齢者宅への訪問（押し寿司の配付とアンケート調査）
山田・館浦	4名	小学校でお化け屋敷を開催・シイラ料理の考案
志々伎	3名	高齢者の通院・買い物支援、小学生の通学支援（付き添い）
生月	4名	ちびっこ縁日の開催、地域清掃、地区行事の参加賞・景品の準備等
中野	3名	高齢者との交流の集いを平戸市役所と共同で企画運営
津吉	9名	地域の方とグラウンドゴルフや平高よかよか体操で世代間交流
紐差	8名	地域の方とモルックで交流、地域課題について協議、環境美化啓蒙掲示板取材
野子	3名	志々伎山登山と清掃活動、SNSを活用したPR動画等の作成検討会

第51回体育祭

10月11日（土）に本校グラウンドにおいて、「第51回体育祭」が開催され、赤団団長を福田涼介さん、青団団長を漆悠人さんが務めました。全校生徒による「平戸音頭・田助ハイヤ節」に始まり、全男子の「平高ソーラン」は力強く迫力のあるパフォーマンスを見せてくれました。「平猫宅急便」や「パン食い障害競争」、「学年対抗リレー」など盛りだくさんなプログラムで、生徒たちは競技も係も精一杯頑張っていました。綱引きでは、保護者の方々も加わり白熱した戦いが繰り広げられました。団対抗演舞も赤団・青団それぞれ工夫を凝らした演舞を披露しました。ご観覧・ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



「Passion～つらぬけ平高魂～」

第51回慈眼祭

10月25日（土）に本校体育館において、『第51回慈眼祭』を開催しました。慈眼祭実行委員のオープニングに始まり、2・3年生の音楽・郷土芸能選択者による太鼓・ギター・ピアノ演奏、1年生は合唱を披露しました。有志企画では1年生の浦田航誌さんのダンスや、PTA会長によるギター演奏、また今回は全学年が劇の発表を行いました。各学年が個性溢れる作品で会場を大いに盛り上げてくれました。展示部門では書道や国語の授業での作成品などが並び、PTAによるバザーも賑わいを見せっていました。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。



同窓会よりお知らせ

8月30日（土）に本校大講義室において、「同窓会総会」が開催され、役員の改選が行われました。長きにわたり同窓会長を務められた川上茂次会長の退任に伴い、針尾直美氏が新会長として就任しました。川上会長は任期中、学校行事の参加や周年事業への支援など、母校の発展に多大なる貢献をされました。新体制となった同窓会の活動に、今後とも変わらぬご支援とご協力を願いいたします。